シャルロット・ゲンズブール／愛されすぎて（1992）

AMOUREUSE

メディア 映画
ジャンル ロマンス　ドラマ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 103分
初公開日 1993/03/20
公開情報 アルシネテラン＝アミューズ提供／アミューズ

【解説】

以前ほどコテコテじゃない「ピストルと少年」以降のドワイヨン。この、「恋のエチュード」のＨ＝Ｐ・ロシェのメモを元に彼自身が脚本を書いた作品も、中性的魅力のシャルロットのお蔭で、結構ガツガツな愛の話がさらりと仕上がっている。今回の“ガツガツ”担当は彼女の恋人役の、眉毛も濃くっていかにもケモノ臭いＴ・ラングマン。彼が、映画監督のＹ・アタルと出会い取材を受けたシャルロットに嫉妬してもう大変な剣幕。それで逆に彼女が“もっと自由に人を愛したい”とか思ってアタルの方に傾いてしまうワケ。信頼って大切ね。で、そこからがさすが三角関係の魔術師ロシェ原案だけあり、ふた波乱くらいあるのですが、それは内緒。台詞に、ちょうど本作クランク・イン前に死去したシャルロットの実父セルジュ・ゲンズブールへの想いが即興で取り入れられてたり、自然なスタンスで作られた好篇です。

【クレジット】

監督	ジャック・ドワイヨン	Jacques Doillon
製作	アラン・サルド	Alain Sarde
製作総指揮	クリスティーヌ・ゴズラン	Christine Gozlan
原案	アンリ＝ピエール・ロシェ	Henri-Pierre Roche
脚本	ジャック・ドワイヨン	Jacques Doillon
撮影	クリストフ・ポロック	Christophe Pollock
出演	シャルロット・ゲンズブール	Charlotte Gainsbourg
	イヴァン・アタル	Yvan Attal
	トマ・ラングマン	Thomas Langmann
	ステファニア・コッタ	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.